

## M16Cシリーズ, R8Cファミリ用Cコンパイラパッケージ ご使用上のお願い

M16Cシリーズ, R8Cファミリ用Cコンパイラパッケージの使用上の注意事項を連絡します。

- UART1の割り込みベクタ関数定義に関する注意事項

### 1. 該当製品

M16Cシリーズ, R8Cファミリ用Cコンパイラパッケージ V.5.42 Release 00以降

### 2. 内容

統合開発環境High-performance Embedded Workshopで新規ワークスペースにおいてCスタートアップファイル作成時に、「CPUグループ」リストから以下のいずれかのマイコングループを選択し、オンチップエミュレータを使用すると指定した場合、生成ファイルintprg.cにおいてUART1の割り込みベクタ関数がコンパイル対象になりません。

対象マイコン：

- M16C ファミリ M16Cシリーズ  
M16C/56D, /5LD, /63, /64A, /65, /6B3, /6B4および /6Cグループ
- R8Cファミリ R8C/3xシリーズ および R8C/Lxシリーズ  
R8C/33T, /34C, /35A, /35C,  
/36C, /36E, /36G, /36W, /36Y,  
/38C, /38G, /38W, /38Y,  
/3JC, /L35C, /L36C, /L38C, /L3AA および /L3ACグループ

注：従来、多くのマイコンにおいて、オンチップデバッグエミュレータ E8aがUART1を占有していたため、オンチップエミュレータを使用すると指定された場合、UART1の割り込み関数の定義を無効にしていました。しかし、上記のマイコンでは、E8aはUART1を占有しないため、E8a使用時でもUART1を使用することができます。

## 2.1 発生条件

新規ワークスペースを以下の手順で作成した場合に発生します。

- (1) プロジェクトタイプで「C source startup Application」を選択する。
- (2) 「CPUグループ」リストから、上記の対象マイコンを選択する。
- (3) 「オンチップエミュレータ使用」チェックボックスをチェックする。

## 3. 回避策

問題を解消するためのM16Cシリーズ, R8CファミリCコンパイラパッケージ (M3T-NC30WA)用Device File Updater V.1.07 を提供します。

入手方法は RENESAS TOOL NEWS 資料番号101116/tn2 を参照ください。

以下のURLでも参照できます。(11月19日公開予定)

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=101116tn2>

Device File Updater V.1.07 をインストール後、作成した新規ワークスペースでは修正済のintprg.cファイルを生成します。

既存のワークスペースでは、intprg.cファイルを Device File Updater V.1.07をインストール後に生成したintprg.cファイルに差し替えてください。

---

### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。